

教育委員会 平成23年度 2月定例会会議録

○日 時 平成24年2月8日(水) 13時30分開会、14時45分閉会

○場 所 鎌倉市役所 全員協議会室

○出席委員 林委員長、山田委員、朝比奈委員、下平委員、熊代教育長

○傍聴者 4人

○本日審議を行った案件

1 報告事項

- (1) 委員長報告
- (2) 教育長報告
- (3) 部長報告
- (4) 課長等報告

ア行事予定(平成24年2月8日～平成24年3月31日)

2 議案第33号鎌倉市指定有形文化財の指定について

- 3 協議事項 平成23年度鎌倉市一般会計補正予算(教育委員会所管)について
- 4 協議事項 平成24年度鎌倉市一般会計予算(教育委員会所管)について

林委員長

定足数に達したので委員会は成立した。これより2月定例会を開会する。本日の議事日程はお手元に配付したとおりである。

本日の会議録署名委員を下平委員にお願いする。では、日程に従い議事を進める。

1 報告事項

- (1) 委員長報告

林委員長

1月18日の定例会後に教育委員4人で山崎小学校に行き、全学年の授業を見学し給食を頂き、林校長先生と懇談を行った。

1月29日に、「鎌倉てらこや」が正力松太郎賞と共生・地域文化大賞を受賞した記念パ

一ティーに朝比奈委員と一緒に参加してきた。神社、大学、地域の3つの連携であり、今後の活動を期待している、と将力松太郎賞の選考委員の方にもお言葉を頂戴した。古い団体が実績を表彰されることが常らしく、これからの活動に期待を込めての受賞はかなり珍しいという報告をいただいている。稲村ヶ崎小学校にも「鎌倉てらこや」のメンバーがいるということだ。いろいろな形でこの活動を見守っていきたいと考えている。

2月7日には御成小学校で行われた授業づくり実践研究会に山田委員と一緒に行って来た。筑波大学附属小学校の細水副校長の指導のもとであった。教育センターの方々が設営をして下さった。お礼を言いたい。楽しいばかりではなく、技術的なことや学校現場のこれからの課題も話し合わせ大変有意義であった。今後も実践研究会に出席していききたいので、早目の情報提供をよろしくお願ひしたい。

(2) 教育長報告

特になし

(3) 部長等報告

特になし

(4) 課長等報告

ア 行事予定(平成24年3月8日～平成24年3月31日)

教育総務部次長兼教育総務課長

行事予定には載せていないが、3月9日に中学校、16日に小学校の卒業式が行われる。教育委員の皆様には、それぞれ学校に出向いていただき、ご挨拶を頂戴したいと考えている。詳細については後日お知らせする。よろしくお願ひしたい。

生涯学習部次長兼生涯学習課長

昨年、東日本大震災の影響で中止になった、「鎌倉こどもコンサート」が鎌倉芸術館小ホールにて3月24日に行われる。鎌倉ジュニアオーケストラと、玉縄青少年会館・鎌倉青少年会館のリコーダー教室のコラボで行う。続いて、文化財めぐりだが、史跡永福寺の整備事業について市民の方に見ていただく企画を3月下旬に予定している。国宝館では、特別展、雛人形展が2月17日から3月31日まで開催される。

質問・意見

林委員長

2月21日の初任者研修会に参加するのでよろしくお願ひしたい。初任者研修会は勉強になるし、新しい先生方とも会えるので、委員としてなるべく出席していきたい。案内等よろしくお願ひする。

(報告事項アは了承された)

2 議案第33号 鎌倉市指定有形文化財の指定について

林委員長

次に日程の2 議案第33号「鎌倉市指定有形文化財の指定について」を議題とする。議案の説明についてお願ひする。

生涯学習部次長兼生涯学習課長

議案集の6ページから7ページを参照いただきたい。

指定予定物件は4件で、絵画 絹本着色羅漢図二幅、彫刻 木造阿弥陀如来及び両脇侍像一軀、工芸 堆朱龍花文長盆一枚、考古資料 今小路西遺跡出土の墨書木札一枚である。

今回の指定予定物件については、1月16日に開催された鎌倉市文化財専門委員会(会長、松島義章氏、神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員)の答申を得ている。本日の当委員会で議決されたのち、2月17日に指定告示を行う予定である。

また、告示後は3月1日付けの広報かまくらに掲載し、2月議会の文教常任委員会にて報告の予定である。

それでは、各指定物件について説明する。絵画 絹本着色羅漢図二幅だが、所有者は円覚寺で制作年代は室町時代、寸法は縦77.5cm、横36.7cmで指定理由は松樹下の岩座に坐す羅漢を一幅に、棕櫚の樹の下にある岩座に坐す羅漢をもう一幅に描いた絹本着色の二幅対の羅漢図である。円覚寺には、国の重要文化財に指定された五百羅漢図・五十幅が所蔵されていることが知られている。羅漢は、正法護持のために請ぜられた修行者の一群と規定され、鎌倉時代以降、禅宗系統では修行の階梯として、特にこれを尊崇するという。本羅漢図二幅は、その描法的な特徴からみて、前述する円覚寺の五百羅漢図が、中国・寧波に絵仏師である林庭珪及び周季常の筆になる南宋時代・12世紀の五百羅漢図の図様と密接な関係をもつことが指摘されるのに対して、それとは別系統の様式をもつ元時代の羅漢図を原本とし、これに倣った作品と考えられる。鎌倉時代の中国羅漢図の日本における、ことに鎌倉～室町時代の鎌倉地方の禅宗寺院におけるその受容及び制作の様を伝える作品として貴重である。公開は、例年行われる11月の宝物風入れにて展示予定である。

彫刻 木造阿弥陀如来及び両脇侍像三軀は、所有者は常楽寺、制作年代は鎌倉時代(仁

治三年（1242年）、寸法は像高、阿弥陀如来70.0cm、左脇侍84.8cm、右脇侍86.2cmである。常楽寺仏殿内仏壇上の厨子内に本尊として安置される阿弥陀如来三尊像で、中尊阿弥陀如来は来迎印を結んで右脚を外に結跏趺坐する姿である。左脇侍観音菩薩は両手を重ねて蓮台を捧持する形をとり、右脇侍勢至菩薩は合掌して、いずれも腰を外にひねって立つ姿である。材料は三軀ともにヒノキ材。阿弥陀如来は寄木造り、両脇侍はいずれも割矧ぎ造り。中尊の台座蓮華に「行西 仁治三年六月十二日」の墨書がある。本三尊像はいずれも鎌倉時代中期の作風を示し、この銘記は当初の造像記であり、仁治三（1242）年の年紀は三尊の製作時期を示すものと考えられる。阿弥陀如来台座の銘記は、筆者とみられる行西がどのような人物であるか明らかでないという問題が残されてはいるものの、常楽寺の規模拡大に指標となる重要な資料である。本三尊像の作風は、鎌倉時代中期の有力な運慶派仏師で定慶のそれに酷似する点が注目される。鎌倉時代の鎌倉地方彫刻史の展開を考えるうえで、本三尊像の意義は極めて大きいため、貴重である。公開は、通年で拝観可能である。

工芸 堆朱龍花文長盆一枚は、所有者は鎌倉市、制作年代は南宋時代、寸法 縦13.3cm、横27.1cm、高2.3cmである。この長盆は、黄色地の上に朱塗を塗り重ねてから、龍、牡丹、椿、梅、梔子を彫り出した堆朱作品で、個々の文様がくっきりと浮き立ち、また龍の髭、葉の葉脈一筋に至るまで細緻に彫られており、南宋彫漆作品のなかでも優れた作行を示している。彫漆は我が国では、材料と手間ひまが多くかかるためあまり普及せず、かわって木に文様を彫って漆を塗る彫木塗漆のいわゆる鎌倉彫が行われた。鎌倉彫の起源にかかわる彫漆の優品でもあり、また制作地が知れる点からも資料的価値は高く、貴重である。公開は、4・5月に行われる鎌倉国宝館主催の特別展で公開が予定されている。

考古資料 今小路西遺跡出土の墨書木札一枚は、所有者は鎌倉市、年代 鎌倉時代、寸法 縦15.5cm、横40.4cm、厚さ1.0cm、出土地は今小路西遺跡（鎌倉市御成町171番1ほか）である。墨書が書かれた板で、針葉樹の板目材を用いている。墨書の内容は屋敷（宿所）の警護当番表である。記されている人名から安達氏の屋敷に関連した警護当番表とみられ、屋敷の台所など家人の出入りする場所に掲げられたものと考えられる。表面には刃物傷があり、掲示板としての使用後、まな板として再利用された可能性がある。この資料に類似する鎌倉時代の当番表の例としては、将軍御所の廂に詰めて警護に当たる御家人の当番表などが知られ、紙や木札のかたちで建物の長押などに掲示されていたものと思われるが、この資料のように現物が残されている例はない。また、若宮大路、小町大路側溝でも人名木簡は出土しているが、多数列記したものはなく、そうした側面からも大変貴重なものである。文末には文永二（1265）年五月の日付が記されており、「殿」が付けられた人名と紀年銘が同時に記された、歴史史料としても非常に重要な資料である。今のところ、公開予定はない。

これらを指定すると、市内の指定文化財は579件となる。また指定文化財の内訳としては、国宝が15件、国の重要文化財が198件、県の重要文化財が70件、市の指定文

化財は今回の新指定の4件を含め、全体で296件となる。

質問・意見

林委員長

常楽寺の仏像はかなり古いものなので、今後色々な方に見ていただきたい。保全等、苦勞もあるかと思うが、いい形で後に伝えられるようにしていただきたい。

(採決の結果、議案第33号は原案どおり可決された)

3 協議事項 平成23年度鎌倉市一般会計補正予算（教育委員会所管）について

林委員長

次に日程の3 協議事項「平成23年度鎌倉市一般会計補正予算（教育委員会所管）について」を議題とする。協議事項の説明についてお願いする。

教育総務部次長兼教育総務課長

議案集の8ページ、9ページを、ご覧いただきたい。

市長から、平成24年2月議会に「平成23年度鎌倉市一般会計補正予算」についての議案を提出するにあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき協議の申し出があったため、協議内容について、お諮りするものである。

資料は、10ページが歳入、11ページが歳出となっている。初めに教育総務部所管分のうち、主なものを説明する。まず、歳入だが、10ページをご覧いただきたい。

学校施設課の小・中学校用地使用料は、校地内駐車場使用料の減額を、国庫支出金、学校施設環境改善交付金は、小・中学校施設整備事業費の確定に伴う減額をしようとするものである。なお、この交付金は「安全・安心な学校づくり交付金」から補助金名称が変更となったものである。

次に歳出だが、11ページをご覧いただきたい。

職員給与費は、5項 教育総務費から、25項 保健体育費まで、各項共通で、年度末までの執行見込額に基づき、補正予算措置をしようとするものである。教育支援事業は、小学校非常勤講師の配置数が当初の見込みを下回ったことに伴う減額を、小学校施設管理事業は、施設・設備の点検、清掃業務委託、教室改修工事などの入札差金の減額を、小学校施設運営事業は学校光熱水費の減額を、小学校施設整備事業は管理諸室空調設備設置工事などの入札差金の減額を、中学校施設管理事業は施設・設備の点検、清掃業務委託、腰越中学校プール管理棟改築工事などの入札差金の減額を、中学校施設整備事業は管理諸室

空調設備設置工事や、第二中学校校庭整備工事などの入札差金の減額をしようとするものである。

以上で、教育総務部所管部分の説明を終わる。

生涯学習部次長

続いて、生涯学習部所管のうち、主なものを説明する。10ページの歳入を、ご覧いただきたい。

国庫補助金は、市内遺跡発掘調査費補助金や史跡買収費補助金などの減額を、県補助金は、史跡永福寺環境整備事業費補助金などの減額を、市債は、史跡保存事業債の減額をしようとするものである。

次に、11ページの青少年課を除く生涯学習部の歳出について説明する。

文化財課の調査・整備事業は、発掘調査件数の減少等による発掘調査業務委託費などの減額を、史跡買収事業は土地買収額の確定に伴う減額を、文化財保存・修理助成事業は事業費確定による減額を、永福寺跡環境整備事業は計画変更等に伴い事業費の減額を、生涯学習センター管理運営事業は、事業費確定に伴う執行差金の減額を、図書館管理運営事業は、資料収集・貸出事業の入札差金等の減額を、スポーツ課の体育施設管理運営事業は、区市町村電子自治体共同運営負担金などの減額をしようとするものである。

質問・意見

山田委員

小学校非常勤講師の配置が当初の見込みを下回ったとあったが、詳しく説明してほしい。

教育指導課長

昨年度予算編成を行う時に、小学校1、2年生の小人数学級編成を実施するために小学校非常勤講師を配置しようとし、9名の予算措置をしていた。23年度に小学校1年生が国の措置で35人編成へと定数改正が行われたため、国、県から教員が配置された。鎌倉市独自の非常勤講師は、2年生のみで5名であった。人数が減ったために減額になった。

山田委員

その場合その予算を別のところ、例えば、教員が足りないという話をいろいろなところで聞くが、そういったところに回すことはできないのか。

教育総務部長

鎌倉市の予算の編成の仕方は一件査定で、この仕事にこのお金をつけるという決まり方をしている。今の場合だと、小人数学級のために非常勤講師を9名配置するというので、

当初予算が決められている。それがたまたま国の予算で手当てができたので別の所で使いたいということは、基本的には難しい。ただ、緊急に何らかの予算的措置を年度の途中でしなければならぬ場合には、少し余裕のでたお金を流用して別の経費に使う、或いは、補正予算を組んで新たに予算を組み直すということを行っている。

林委員長

では、3年生を少人数学級にする場合の教員の不足分として、今の5人分の予算を使うことは出来るのか。

教育総務部長

鎌倉市の場合、3年生は少人数学級をやっていない。もともと経費として見ていないので、該当しないと思う。

林委員長

3年生まで少人数学級にするということも議案を通せば出来たのか。

教育総務部長

議会で、3年生まで少人数学級にしたいという陳情が出された時に、採択をされている。それを受け、教育委員会としてもその方向で進めていくということも一つの考え方だと思う。ただ、小人数学級を行うと学級担任が必要になる。市で配置する非常勤講師は、時間的な制約もあり、また教員ではないので、学級担任はできない。教員の絶対数が足りないので、3年生まで少人数学級を行うことは今の段階では物理的に難しい。

林委員長

歳出の教育支援事業費、当初の予算が495万2,000円のものが、219万5,000円に変わり、275万7,000円の減額になっている。帯が架かっているが意味があるのか。

教育総務部次長兼教育総務課長

これは財政課からの資料であり、特に意味はないと思う。

林委員長

史跡買収事業費の5,700万円は大きい。歳出の減額のほとんどだ。他はバランスが取れている。例年補正予算の報告は入っているのか。

教育総務部次長兼教育総務課長

去年はこの横長のスタイルではなく、今年が初めてである。少し見にくいので、財政課と協議し、もう少し見やすいスタイルにしてもらうように話をしたい。

(協議事項 平成23年度鎌倉市一般会計補正予算(教育委員会所管)は、協議内容に同意された)

4 協議事項 平成24年度鎌倉市一般会計予算(教育委員会所管)について

林委員長

次に日程の4 協議事項「平成24年度鎌倉市一般会計予算(教育委員会所管)について」を議題とする。協議事項の説明についてお願いする。

教育総務部次長兼教育総務課長

議案集の12ページ、13ページを、お開きいただきたい。資料は、14ページから20ページである。

市長から、平成24年2月議会に「平成24年度鎌倉市一般会計予算」についての議案を提出するに当たり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、教育委員会所管部分について、協議の申し出があったため、お諮りするものである。

それでは、14ページ「平成24年度予算(案)教育費一覧」ご覧いただきたい。

経常的経費は、教育総務部所管が13億266万円、生涯学習部所管が8億9,271万6,000円、計21億9,537万6,000円で、前年度比較3,784万3000円、1.7%の減となっている。これは、高等学校等就学援助金、要保護及び準要保護児童生徒扶助費、学級介助員、学級支援員などに係る経費は増額となったものの、学校用地の借料、新指導要領実施に伴い要した経費、文化財調査整備事業、海浜公園水泳プール更衣室棟リース料などの減額によるものである。

政策的経費は、教育総務部所管が4億6,378万7000円、生涯学習部所管が6億3,185万7000円、計10億9,564万4000円で、前年度比較4億3,932万5000円、66.9%の増となっている。これは、大船中学校の改築事業費、史跡買取事業費、史跡永福寺環境整備事業費などの増額によるものである。

職員給与費は、教育総務部所管が9億3,854万4000円、生涯学習部所管が、5億7,960万5000円、計15億1,814万9000円で、前年度比較1億3,604万1000円、8.2%の減となっている。

15ページから18ページまでが、「平成24年度予算(案)の概要」となっている。

まず、歳入から説明する。使用料及び手数料は9,774万5,000円で、小中学校用地の目的外使用料や生涯学習センター使用料、国宝館観覧料など教育使用料を、国庫支

出金は、4億4,747万1,000円で、小中学校施設整備の経費や文化財保護整備の経費などを対象に交付される各種補助金を、県支出金は、9,984万9,000千円で、文化財保護整備の経費などを対象に交付される各種補助金を、財産収入は、就学援助基金や教育文化施設建設基金など、基金の運用利子等と、教育センターや国宝館などの、図書等売払収入を、諸収入は、学習センター喫茶コーナー光熱水費、学校開放施設夜間照明利用料などを教育費収入として、市債は、小中学校の施設整備の経費や、文化財保護整備の経費に充てるため、教育債としてそれぞれ計上した。

続いて、歳出について説明する。17ページをご覧ください。歳出については、主な内容欄の二重丸を付けて記載してある経費ごとに、説明する。

まず、教育総務部所管分だが、教育委員会運営の経費は、教育委員会委員の報酬などを、事務局の経費は、非常勤嘱託員の報酬や教育委員会事務局市職員給与費などを、学校施設管理の経費は、学校施設の管理業務、警備業務や土地建物借料などを、教職員の経費は、教職員の健康診断や福利厚生事業委託などを、教育指導の経費は、肢体不自由学級の児童生徒送迎用バスの運行業務委託、教育用コンピューター賃借料、外国人英語講師、学級介助員の報酬などを、保健就学事務の経費は、学校医の報酬、児童生徒の健康診断委託料、高等学校等就学援助金、学校災害賠償責任保険料などを、教育センターの経費は、教育相談指導員・スクールソーシャルワーカーの報酬、心のふれあい相談員謝礼、各種研究会・研修会の講師謝礼、小中学校副読本の印刷製本費などを、小学校一般の経費は、小学校16校の運営経費、小学校勤務市職員給与費、給食調理業務委託、給食用備品の購入費、教育課程や指導の課題についての研究・研修の経費などを、教育振興の経費は、特別支援学級の運営経費、西鎌倉小学校特別支援学級初度調弁、特別支援教育就学奨励費などを、小学校施設整備の経費は、稲村ヶ崎小学校トイレ改修工事、西鎌倉小学校特別支援学級教室改修工事、管理諸室への空調設備の設置工事などを、中学校一般の経費は、中学校9校の運営経費、中学校勤務市職員給与費、教育課程や指導の課題についての研究・研修の経費などを、教育振興の経費は、特別支援学級の運営経費、第二中学校特別支援学級初度調弁、特別支援教育就学奨励費などを、中学校施設整備の経費は、大船中学校改築工事基本・実施設業務委託、仮設校舎の賃借料、第二中学校特別支援学級教室改修工事、管理諸室への空調設備の設置工事などをそれぞれ計上した。

18ページをご覧ください。生涯学習部所管分について説明する。

社会教育一般の経費は、スポーツ課を除く生涯学習部等の職員給与費、美術品保管等の経費などを、社会教育施設の経費は、鏑木清方記念美術館の指定管理料などを、保護整備の経費は、史跡買取事業や、調査・整備事業の経費などを、生涯学習センターの経費は、生涯学習センター管理業務補助嘱託員等報酬、施設維持管理費などを、図書館の経費は、図書館業務嘱託員報酬、図書購入費などを、国宝館の経費は、非常勤特別職員等報酬、特別展等美術品運搬料などを、文学館の経費は、鎌倉文学館指定管理料などを、保健体育一般の経費は、スポーツ課職員給与費、スポーツ推進委員等報酬、学校体育施設開放事業な

どを、体育施設の経費は、スポーツ施設の指定管理料、こもれび山崎温水プール施設整備等サービス購入料などをそれぞれ計上した。

19ページ、20ページが、「平成24年度予算の主な教育事業」となっている。19ページをご覧いただきたい。

まず、教育総務部所管分だが、学校の安全対策は、小学校全16校に警備員を配置し、学校・児童の安全を確保するものである。不登校・いじめなどの相談支援体制の充実、早期発見・早期支援により問題発生の予防効果を高めるとともに、問題が長期化・重大化しないようスクールソーシャルワーカーの活用を図り、継続的なチーム支援の体制を構築するものである。特別支援学級の全校設置は、知的障害、自閉症・情緒障害学級の全校設置に向け、西鎌倉小学校・第二中学校に特別支援学級を整備し、平成25年4月に開級しようとするものである。特別支援教育の推進は、発達障害などについての専門知識を持つ巡回相談員を派遣し、教職員に対し、助言を行うとともに、学習面で支援を必要とする児童に対し、スクールアシスタントを派遣し支援を行うものである。学校施設の改築（大船中学校）は、改築に向けた、基本・実施設計などを行うものである。学校教育環境の充実（空調設備設置）は、小中学校10校の管理諸室に空調設備を設置するものである。学校教育環境の充実（教材・教具の整備）は、児童生徒用机・椅子、教材・教具など備品類や、教室用暖房機器を更新・整備することで、小中学校における教育環境の充実を図ろうとするものである。

20ページをご覧いただきたい。20ページは、生涯学習部所管分である。主な事業について説明する。

鎌倉生涯学習センターの改修は、ホール舞台機構修繕などの施設維持修繕を行うものである。体育館等の修繕は、鎌倉体育館の給排水設備修繕などの、スポーツ施設維持修繕を行うものである。図書館利用サービスの充実、書誌情報データの充実、近代史資料の収集・整理・公開や、継続して月曜開館を行うものである。史跡の公有地化は、史跡の恒久的な保護・保存を図るため、史跡北条氏常盤亭跡などの公有地化を進めるものである。国指定史跡永福寺跡の環境整備は、国・県の補助を受け、国指定史跡永福寺跡の、三堂基壇復元工事などを行うものである。

質問・意見

林委員長

私は基本的に対前年度比でプラスになっている箇所、マイナスになっている箇所を見ている。それぞれ何か原因があると思うので確認したい。教育費一覧の中で政策的経費が対前年度比でかなりプラスになっている。特に生涯学習部は122.8%の増である。この部分の説明をお願いします。

生涯学習部長

史跡の公有地化の対象面積の拡大により事業費が大きくなっている。

教育総務部次長兼教育総務課長

教育総務部関連では、大船中学校の改修工事の経費が24年度よりかかってくるので、その部分の増である。

林委員長

大船中学校の改修工事の総事業費はどのくらいか。

学校施設課長

総事業費は約40億円である。建て替え工事費、解体工事費、設計委託料、代行工事等を含め40億円である。

林委員長

24年度から25年度の基本・実施設計と26年度から27年度の改築工事はそれぞれどの位の金額か。

学校施設課長

基本・実施設計は24年度・25年度の2ヶ年に分けて行う予定で、合わせて1億6千万である。24年度は5千万、25年度が1億1千万である。建て替え工事、校舎・体育館の改築工事自体は約30億円である。

林委員長

総事業費40億との差額の約8億円は何に使われるのか。

学校施設課長

校舎・体育館の解体工事や、工事を進めるに当たっての工事管理委託料、耐震診断工事、外構工事等に使われる。

林委員長

教育総務部の職員給与費が1億2千万の減だが、この部分の説明をお願いします。

教育総務部次長兼教育総務課長

職員給与費の中には色々な要素が含まれているが、一番大きな要素は、手当の中の退職手当で、かなりの比率で落ちている。もともと想定される退職者数が23年度に比べ24

年度のほうがかなり少ない。その他、地域手当が落ちている。この2つが減額の要素である。

林委員長

生涯学習部と差異があるのは、教育総務部に退職者が多いということになるのか。

教育総務部次長兼教育総務課長

退職手当は教育総務部で予算計上しているので、この金額が出ている。

林委員長

先ほど答弁いただいた退職手当と地域手当は教育総務部の11.4%のマイナスの中に含まれているのか。

教育総務部次長兼教育総務課長

教育総務部に含まれているのは退職手当だけである。生涯学習部の2.7%のマイナスは地域手当である。

林委員長

歳出の教育総務費の中の事務局費が前年度比8.4%のマイナス、6,983万6,000円の減だが、理由をお聞かせいただきたい。

教育総務部次長兼教育総務課長

先ほども説明した退職手当が大きな要素である。後は土地の賃借料が少し減額になる等の要素がありこのマイナスになっている。

林委員長

では学校の技能員や給食調理員の費用がマイナスになっている訳ではないのか。

教育総務部次長兼教育総務課長

基本的にはそうである。ただ、臨時的任用職員については人数の積算の関係で若干の減になっている。

林委員長

教育指導費が697万の増額で、項目の中に外国人英語講師があるが、昨年増員したと思うがまた増員するのか。

教育指導課長

外国人英語講師は今年度 1 名増員した。来年度は現状維持で 5 名である。増額はそれ以外の部分で、全体的に 5 %シーリングをかけられているところだが、人的な支援ということで、学級介助員を 2 名増、スクールアシスタントを 1 名増、学級支援員が 7, 800 時間から 9, 300 時間というように特別支援に関する部分の増額が要因である。

林委員長

教育振興費の中の扶助費はどういったものか。

教育総務部次長兼教育総務課長

要保護・準要保護の児童生徒に、学用品やメガネの購入の補助等するものである。

林委員長

そういったものまで予算に含まれるとなると、予算は増やせていないということか。

教育総務部次長兼教育総務課長

経常経費は全体的に 5 %のマイナスシーリングとなっている。それが予算編成のベースになってきている。ただ、こうした扶助の経費についてはカットするのではなく、しっかりと予算を確保できるという形の中で予算編成が行われている。

林委員長

扶助費は今後も増えていく見込みという話もあったが、シーリングの中にはこういった削ってはいけない項目も含まれていると思うので、切り分けて考えていって欲しい。

小学校の学校管理費は微増だが、中学校の学校管理費は 3, 745 万のマイナスだ。何か理由はあるのか。

教育総務部次長兼教育総務課長

中学校一般経費・中学校施設の経費で 12 %のマイナスになっている。学校に配当する予算については、全体としてはマイナス 5 %シーリングの対象であり、その予算編成のルールに乗っ取り若干の減になっている。今回の大きな要因としては、施設課の方で執行している学校の修繕工事がある。これは年により計画的に修繕を行っており、年によって若干の上がり下がりがあり、23 年度に比べ 24 年度は減額となっている。

林委員長

特色ある学校づくりの予算は同額だということだが、校長先生によってはいろいろアイディアをお持ちの方もいるので、是非増額できるように、学校現場の支援になるようにお

願いたい。

生涯学習部所管の図書館費が、9.3%、1,395万円の減だが、内訳を教えてください。

中央図書館長

今年度は100周年記念事業をおこなった。その関係の経費と、100周年を記念して資料整理を行った経費の、合計1,100万円ほどが不要になるので、減額になった。その他、200万ほどは図書資料費が減額になった。図書資料費は8%ほどの減額である。

林委員長

特殊な事情があると理解できた。図書館費も5%以上削らないようにしていただきたい。図書資料費の減額の200万も大きい。

中央図書館長

図書資料費の削減を工夫する意味で、オンラインデータベースを活用する等、新しい資料提供の形を検討していきたいと考えている。データベースの費用は年間約50万の増額となっている。相殺して200万弱の資料費の減となる。

林委員長

お金のない中、工夫をするしかないので検討していただきたい。次に体育施設費だが、9.9%、2,779万9,000円の減だが、内訳をお願いします。

スポーツ課長

大きなものは市営プール関連の経費である。今年度仮設の管理等をリースで開設した。入札の差金と23年度にプールを開場するにあたり必要な修繕を行ったが、これは23年度に終了し24年度には行わない。仮設のリース料と修繕費を合わせて2,300万ほど減額になる。その他、23年度に実施した旧管理等の耐震診断が300万ほど減額になる。

林委員長

主な内訳の中の、スポーツ施設の指定管理料、こもれび山崎温水プール施設整備等サービス購入量はそれぞれいくらか。

スポーツ課長

こもれび山崎温水プールの運営の関係が約8500万、スポーツ施設の指定管理料が約8100万である。

林委員長

こもれび山崎温水プールの契約期間はあと何年残っているのか。

スポーツ課長

トータル15年間で平成31年までである。

林委員長

以前議案で出ていた駐車場の関係はここには入っていないのか。

スポーツ課長

現在市が直営でやっている、鎌倉体育館、大船体育館、鎌倉武道館の駐車場を指定管理にするということで、平成25年度からであるので今回の予算には反映させていない。

林委員長

駐車料金が指定管理者に入るので、指定管理料が下がるということだった。数字も変わってくると思うので、来年の予算の際に説明をよろしく願います。

ここ二、三年、私しか質問をしていない。分かりにくいので早めに情報をいただいて勉強会等の設置をお願いしたい。イメージが湧かないので質問も出にくい。せっかくの定例会なので、質問が出るように工夫をしていただきたい。

(協議事項 平成24年度鎌倉市一般会計予算(教育委員会所管)は、協議内容に同意された)

林委員長

以上で本日の日程は終了した。2月定例会を閉会する。